

令和4年度事業計画（案）

令和4年度の政府の経済財政運営の基本的態度は、ウィズコロナの下で社会経済活動の再開・継続を図りつつ、民需の回復を後押しし、経済を民需主導の持続的な成長軌道に乗せていくものである。またデフレからの脱却を最大の目標と位置づけ、財政支出は躊躇なく行い、万全を期するとしている。

遊技業界では、パチンコ・パチスロ産業21世紀会を中心に、新型コロナウイルス感染に取り組むとともに、依存対策などの各項目について取り組みを行っている。またホール関連団体を中心に、旧規則遊技機の撤去後の新たな取り組みとして遊技機の筐体大型化や音量等に関する検討や、広告規制の適正化に向けた話し合いを行うなど、参加人口を増やすための施策について協議を行っている。

当協議会は、これまで「業界を取り巻く環境の整備」と「現行風営適正化法の問題点の調査研究」を二本柱として活動してきた。遊技業界が長らく低迷し深刻な曲がり角に立たされていることもあり、会是にある理念の実現に向けて積極的に発信し、風営適正化法では対応できない問題点について、研究を行い、提言を行っていくものとする。

具体的には業法試案を時代に即したものにするために適宜協議、改正を行うとともに、他団体に向け基本的な説明、協議ができるような体制づくりを構築する。そのうえで、我が国固有の娯楽産業であるパチンコ・パチスロが発展継承をするために、ホール・メーカー等の垣根を超えた業界の総意結束を図り、新たなビジネスモデルの研究調査をはじめ、諸課題に挑んでいく。

同様に、遊技業界で働く人々のQOL（生活の質）の向上を目指して、SDGsやESG等といった社会的目標の理解や認識を積極的に広げ、会員に共有していく。その他、創立以来取り組んでいる健全営業の推進と社会貢献活動に引き続き尽力していく。今年度はホームページの更新を行い、更なる団体・所属会員の情報を発信したり、部会や委員会等の開催についてはウィズコロナ時代を反映し、当面会場とオンラインのハイブリッド開催を行ったりするなど、デジタルシステム・ツールを積極的に活用し、より会員がアクセスしやすい運営を進める予定である。

会是

『業界の環境を整備し業法の制定を図る』

今年度の重点目標

『遊技業界の将来展望を拓くために積極的な政策提言活動を行う』

具体的な行動目標

1. 業法制定に向けて内外の啓発活動を行う
2. 遊技環境の在り方を研究調査する
3. 地域社会と共生する遊技場の在り方を研究調査する
4. 会是に賛同する会員の増員に努め、組織基盤の強化充実を図る

行動内容

1. 理事会は8月を除く年11回開催する
2. 役員会を月1回以上開催し、理事会議案等を作成する
3. 定例部会を8月と12月を除く年10回開催する
4. 11月に秋季セミナーを開催する
5. 特別部会を開催し、現行法運用上の諸問題を研究調査する
6. 多様性のある遊技環境の構築に向けた活動を実施する
7. 業界展望について協議検討する
8. 行政及び関係団体等との情報交換や交流を推進する
9. 「窮状に対する打開策としての提案について」の成案化を進める
10. 「風営適正化法令におけるパチンコ営業運用上のQ&A」改訂について検討する
11. 「全国パチンコ店舗避難所ガイド」の店舗登録の拡大に努める
12. 会員HPの更新・運用及びHPの更新を行い、情報共有・公開の効率化を図る
13. 部会および理事会を会場とオンラインを使ったハイブリッド開催を行う
14. 新型コロナウイルス感染症対策を優先課題とし、臨機応変に対応する

以上